

平成25年度第7回政策会議

日時 平成26年2月13日(木) 13:30~14:30
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 山本教育長 秋田企業局長
谷口企画部長 川越総務部長 山田財務部長

議題2 福祉コミュニティエリア整備に係る基本的な考え方について

◎対応 種田保健福祉部長 戸内都市建設部長 杉本土木部長 鶴巻上下水道部長
藤田保健福祉部次長 桐澤高齢者支援担当参事

◆ 議題の趣旨 ◆

日吉4丁目団地跡地における福祉コミュニティエリアの整備について、これまで関係部局や関係事業者等と協議、検討を重ねてきた中で、今後の基本構想策定に向け取りまとめた、「福祉コミュニティエリア整備に係る基本的な考え方(案)」について、内容等を協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

福祉コミュニティエリア整備に係る基本的な考え方は、内容を一部修正の上、了承されました。

◆ おもな発言 ◆

■ 種田保健福祉部長

福祉コミュニティエリアの整備に関し、市としての基本的な考えを示した上で、平成26年度には基本構想の策定に向けて市民ニーズおよび民間事業者の意向把握などを行っていきたいと考えている。2月19日の民生常任委員会に報告し、これはパブリックコメントをせず、市の方針として定めたいと考えている。

□ 桐澤参事

計画地の現状については、第一種低層住居専用地域、建ぺい率50%、容積率100%、下水道は処理区域外で新たな下水道が必要であり、都市ガスも供給区域外で新たに整備が必要である。

周辺環境については、閑静な住宅地で、スポーツ・レクリエーション機能がより充実した地域であり、また、函館バスの日吉営業所があることで中心市街地等にもアクセスしやすい交通の利便性が高い地域である。

次に、基本構想策定に向けた基本的な視点については、ソフトおよびハードの整備等に加え、民間活力を活用したまちづくりということで、民間事業者による整備運営を求めている。

想定される機能・施設の例としては、一般住宅等の他、交流・地域活動機能、相談支援・情報提供機能、高齢者支援機能など、様々な機能を想定している。

次に、実現に向けた課題としては、実現可能性の高い事業手法を検討するために、市民ニーズの把握や、民間事業者の意向把握、これがキーになるところだが、全体

事業を一体で担うことのできる事業者によって整備されることが望ましいと考えているが、民間事業者の意向によっては、ブロックごとに整備を進めることも考えられ、複数の事業者の場合でも、全体をコーディネートできる体制が必要になってくる。これは、事業手法に大きな影響を与える課題なので、民間事業者の意向把握をしっかりとっていききたい。

■工藤市長

基本的には分割での整備は望ましくない。エリア全体のまとまりがなくなる。事業期間についてもあまりこだわらないほうがよいのではないかと考えている。一体での整備がどうしても難しい場合は、分割等の手段があるだろうが、まずは一体で整備することを基本とするのがよい。

■種田保健福祉部長

その他にも多くの課題があるので、まずは翌年度の基本構想策定時に、これらの課題を整理し、平成27年度には事業者の選定を行いたいと考えている。その後については、次期介護保険事業計画と整合を保つためには、平成29年度には一部供用開始のスケジュールとなる。

■工藤市長

これだけの大事業なので、スケジュールについては余裕を持たせたほうがよい。

■山田財務部長

インフラ等の整備については、平成29年度の一部供用開始に間に合わせるためには非常に厳しいのではないかと考えている。

■工藤市長

民間事業者にとっても、選定後からのスケジュールにある程度余裕があれば、きちっとした整備の考え方ができるはず。

■種田保健福祉部長

整備スケジュールについては、現段階では平成27年度の事業者公募・選定までの部分を掲載することとしたい。

■工藤市長

スケジュール等について内容を修正した上で、本件については了承した。